

## 腎臓病における尿中膜輸送体解析の有用性に関する研究

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年12月3日～2025年12月31日

**〔研究課題〕** 腎臓病における尿中膜輸送体解析の有用性に関する研究

**〔研究目的〕** 慢性腎臓病患者は日本人成人の8人に1人とされ、新たな国民病とも言われています。腎臓病は高血圧の原因となるほか、血清ナトリウム異常やカリウム異常などの電解質異常とも密接に関連しており、その病態はとても複雑です。腎臓の尿細管には電解質の輸送に関わる分子が多数発現しており、その一部は尿中に排泄されています。本研究では、当科を受診された腎臓病患者様を対象に、尿中に含まれる膜輸送体の発現量の変化を探索的に検討し、診療上有用な情報を得ることを目的としています。

**〔研究意義〕** 本研究の解析により診療の質の改善や医療費の削減につながる可能性があります。

**〔対象・研究方法〕** 調査対象となるのは2008年4月1日から2019年11月30日までに当大学附属病院腎臓内科を受診され、慢性腎臓病、高血圧、あるいは電解質異常のいずれかを有する患者さまです。外来診療の際に行った採血などのデータを調べます。

**〔研究機関名〕** 帝京大学医学部附属病院 腎臓内科

**〔個人情報の取り扱い〕** 研究で知り得た個人情報については、内科医局内で管理し、外部に漏洩しないように細心の注意を払って厳重に管理します。あなたの検体や臨床検査データを匿名化し、あなたの名前は付けずに番号だけを付けて扱います。研究終了後は、情報が外部に漏洩しない方法で破棄します。

**〔その他〕** 今回の研究で得られた全体的な結果については、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部内科学講座 柴田茂

研究分担者：石澤健一

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211(代表)